

# ～ めきゃべつ通信 ～

第1号 2011年8月発行  
スーダン障害者教育支援の会

「点と点を繋いで描く夢」プロジェクト実施報告

## 6名の生徒が、無事点字教室を終了！

—将来、医者になりたいです。趣味は歌を覚えることです。エルヌール盲学校で点字を勉強しました。すごく役立ちました。—



2011年1月にスーダン・ハルツーム州で始まった点字教室は、受講生6名の夢いっぱいの作文をもって無事終了しました。点字ができれば、地域の通常の学校で学ぶ視覚障害をもつ子どもも、自分でメモを取り、家に帰って復習ができます。交通手段の問題や家庭の理解不足から当初の26人から受講生は大幅に減りましたが、それでも彼らが点字で綴った「夢」は、何にも代え難い

成果！以下は、スーダンから届いた子どもたちの声です。

(写真左：点字板を使って点字を書きます。写真右：視覚障害学生のイーサさんと受講生)

### 子どもたちの作文より

- 将来、教員になりたいです。日本の皆さん、ありがとうございます。
- おかげさまで点字を学ぶことができました。将来石油技術者になりたいです。
- 将来ジャーナリストになりたいです。私の特技は歌です。エルヌール盲学校にて点字の読み書きを学びました。
- 将来、文化大臣になりたいです。日本の皆さん、ありがとうございます。
- 将来教員になりたいです。サッカーが大好きです。これから点字を使って勉強を続けていきたいと思っています。

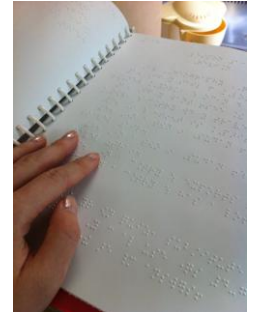
なお、本事業の詳細は、CAPEDS サイトで公開中の事業報告書にてご覧いただけます。  
<http://capeds.org/Documents/CAPEDSreport201105rev.pdf> をご覧下さい。本事業は、ザ・ポデイショップニッポン基金様の助成金および東京日本橋ロータリー・クラブ様のご支援によって実施することができました。ありがとうございました。

\*\*\*\*\*

「夢を乗せてとどけ!英語教科書プロジェクト」実施報告

## スーダンへ届け！思いの詰まった点字教科書

—子どもたちのために英語の教科書を点字に訳してくれないか—  
盲学校の先生のひとことから始まった英語教科書点訳プロジェクト。ボランティアの手で点字に訳された英語教科書は、無事印刷・製本を終了し、6月6日スーダン・ハルツーム州のエルヌール盲学校宛に発送されました。



スーダンでは小学校5年生から英語を学びますが、10人の学年に3冊の教科書しかなく、多くの生徒は慣れない外国語を耳だけで学習しています。1人1冊の点字教科書があれば、自分で単語の綴りを確認したり、家で復習したりできるようになります。今回発送したのは8年生用の英語教科書60冊(写真)。高校受験を前に、活躍してくれることと思います。発送の様子は、<http://capedsnews.blog62.fc2.com/blog-entry-103.html> をご覧下さい。

「昔から恩師の先生を手伝って、後輩の教科書を手作りしていたから、今回のプロジェクトで、きれいな教科書を大量に送ることができるのは本当に嬉しい」と、スタッフのムルタダ君。日本で学ぶスーダン人の手で丁寧に箱詰めされた教科書。母国の子どもたちが手にする瞬間が楽しみです。

本事業は、横浜 YMCA 様の助成金および国内の点訳ボランティアの皆様の協力により実施することができました。ありがとうございました。

\*スーダンの学校教育は、初等教育8年、中等教育3年のカリキュラムで行われています。

\*\*\*\*\*

「大学の教科書データ化プロジェクト」進捗報告

## 22冊の大学教科書がデータになりました！

本プロジェクトは、ハルツーム大学で学ぶ障害学生の使う基礎的な教材を、3年間で100冊分の電子データにすることを目的として、2010年4月から実施されています。大学で学ぶ視覚障害学生は、教材を友人に朗読してもらわなければ読むことができませんが、音声パソコンで読める電子データがあれば、いつでも好きなときに自分で本を読むことができます。現地から届いた最新の情報では、現在22冊分の教科書がデータ化されているとのことです。来年度も引き続き、電子化を進めていきたいと思っています。

本事業は、日本財団夢の貯金箱プロジェクト様のご支援により実施されています。ありがとうございます。



## ボーイ！ブラインドサッカー便り

4月3日に世田谷中央ロータリー・クラブ様、米山友愛ロータリー・クラブ様と企画していたブラインドサッカーイベントは、東日本大震災の影響により中止となりましたが、両ロータリー・クラブ様より、18個のブラインドサッカーボールを寄贈していただきました。スーダンで一人でも多くの方が、ブラインドサッカーの魅力を知る助けになってくれることと思います。本当にありがとうございました。



## 理事のひとこと

まだまだ残暑の厳しい日が続いておりますが、みなさまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。いつも私たちの活動を支えてくださり、本当にありがとうございます。

おかげさまで今年度は念願の基礎教育支援に乗り出すことができました。たった6名ですが、点字を学ぶ機会がなかった子どもたちに点字を教え、点字板を贈ることができました。最後に、彼らは習いたての点字で、大きな将来の夢をつづってくれました。視覚障害を持ちながら教育を受けることは決して容易ではありませんが、夢があれば困難にもめげずに学び続けられるのでは…と、思わず彼らの将来に思いをはせてしまいました。これからは、より多くの子どもたちが点字を学べるよう点字講習会に力を入れつつ、点字を学んだ子どもたちが点字を使い続けられるためのフォローアップにも取り組んでいきたいと思っています。皆様に託された思いを形にできるよう、これからも頑張りたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

CAPEDS 理事 福地健太郎



国内イベント（勉強会）報告

7月8日(金) 中東セミナー

### 「スーダンはこれで平和になるのか？～新国家、旧国家の挑戦～」

南スーダン独立前夜…日本で、スーダン人留学生がスーダンの未来に切り込んだ！ゲストには、アフリカをフィールドとして研究されている武内進一先生(JICA 研究所)と岡崎彰先生(一橋大学)をお呼びし、国際関係学や民俗学などさまざまな角度からスーダンの今後を分析してお話をいただきました。圧倒的多数の賛成で採択された南部独立ですが、国づくりという大きな課題を前に、両国は経済格差や高い失業率など多くの課題を抱えたままです。熱心にメモを取る参加者の中からは、「私たちには何ができますか？」という質問がありました。

…私たちには何ができるんだろう？

目指すのは、スーダンの人びとが安心して平和に生活できる社会。平和構築の一端として、地域に根ざして障害をもつ人びとの教育の機会を充実させる、という CAPEDS の活動意義を再確認した勉強会でした。



## ラジーズジッダン！おすすめスーダン料理♪

今回紹介するスーダン料理は、牛肉を贅沢に使った「クフタ」。ひき肉をさまざまなスパイスで味付けし、長細く丸めたら、パン粉をまぶして油で揚げます。そのままパンと食べてもおいしいけれど、トマトソースで煮たクフタもとても美味です。色とりどりのサラダと一緒に召し上がれ！



## お知らせコーナー

- ・ 毎月最終土曜日にミーティング開催！  
次回は10月29日13時～新宿にて。興味のある方は、[director@capeds.org](mailto:director@capeds.org)までご一報下さい。お菓子をつまみながら、親父ギャグに爆笑しながら、一緒にスーダンのことを話しましょう。
- ・ 総会開催のお知らせ  
10月15日に CAPEDS 総会を行います。会員の皆様は、お手元に届く案内をご確認下さい。
- ・ サイトリニューアル中！  
「HP、もっとこうなったらいいんじゃない？」…などなど、ご意見ください。一緒に団体広報に関わってみたい！という方も募集しています。



団体HPでは、随時ニュースを更新中！現地の最新の動きや代表理事の爆笑ブログなど、チェックしてみてください。

HP：<http://capeds.org>

活動ブログ：<http://capedsnews.blog62.fc2.com>

Facebook：<http://www.facebook.com/capeds>

ツイッター：<http://twitter.com/#!/capeds>